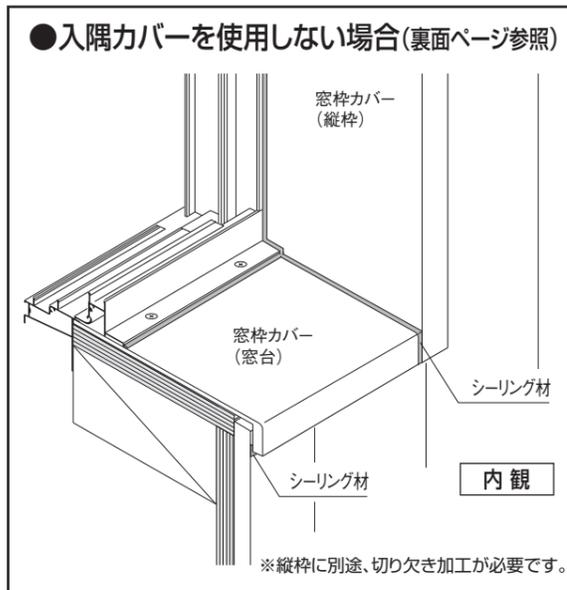
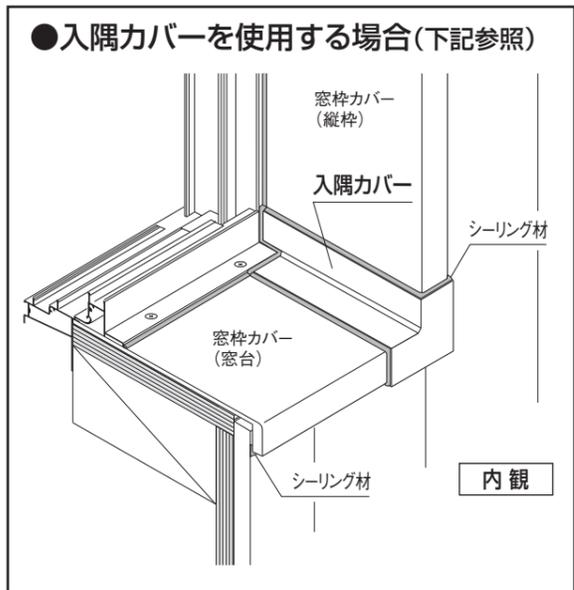


フクビ マルチユース窓枠カバー

取扱い・施工説明書

このたびは、フクビ製品「マルチユース窓枠カバー」をお買い上げくださりまして有難うございました。
下記の施工説明書をよく御覧の上、正しく施工を行ってください。

本製品は、同梱の「入隅カバー」を使用する場合と「入隅カバー」を使用しない場合の2種類の方法からお好みの納まりを選択することができます。



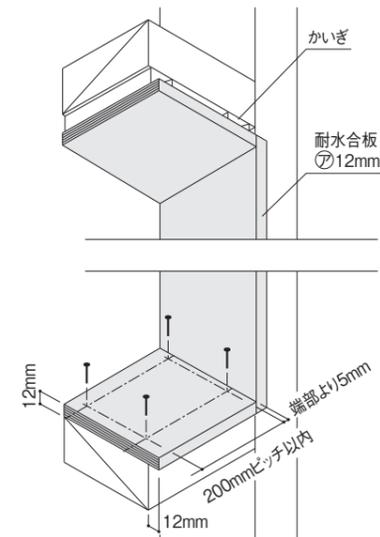
■部材の名称

部材名	形状	梱包入数
本体		2本
入隅カバー ※使用しない場合は不要となります。		8個
両面テープ		2巻 (7m/巻)
別売部材		
シーリング材 (トスシール83)		10本 (バラ出荷可)

⚠注意: シーリング材を現場調達する際は、オキシム型防カビ剤入りタイプをお使い下さい。

■施工順序(入隅カバーを使用する場合)

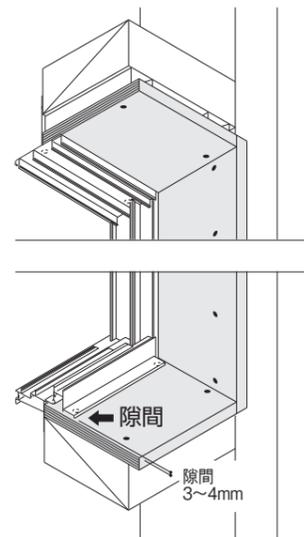
1. 開口部調整(耐水合板貼り付け)



チェックポイント

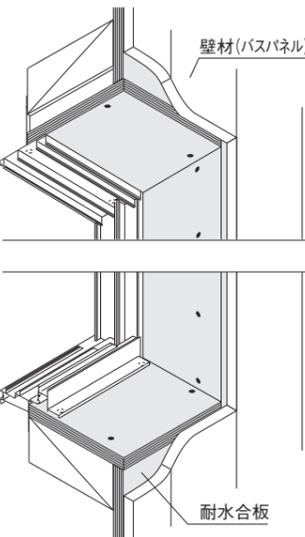
- ⚠注意: まくさの内側に四方とも必ず耐水合板(12mm厚)を貼り付けて下さい。
- ⚠注意: 耐水合板は室内側へ厚み分(12mm)まくさより出るように貼り付けて下さい。

2. サッシ取り付け



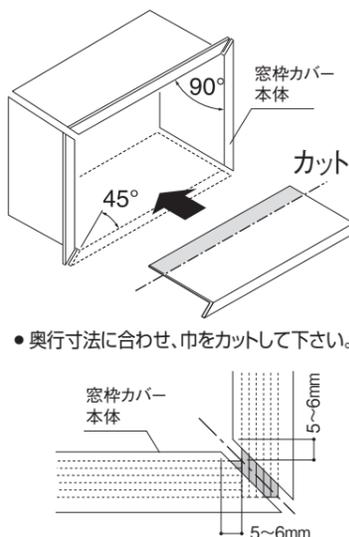
- サッシアングル部と耐水合板の隙間は、3mm以上4mm以下を確保して下さい。

3. 壁材取り付け



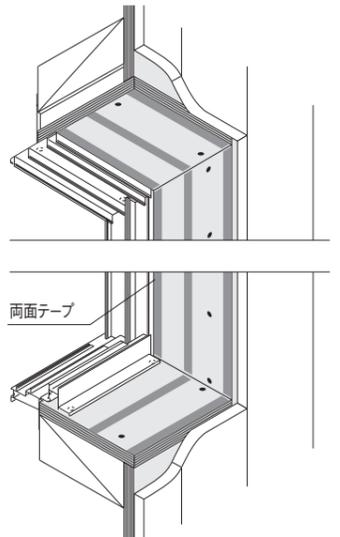
- まくさ内側に取り付けした耐水合板と同様の耐水合板(12mm厚)を貼り付けて下さい。
- 耐水合板の上から壁材を貼り付けます。

4. 本体切断



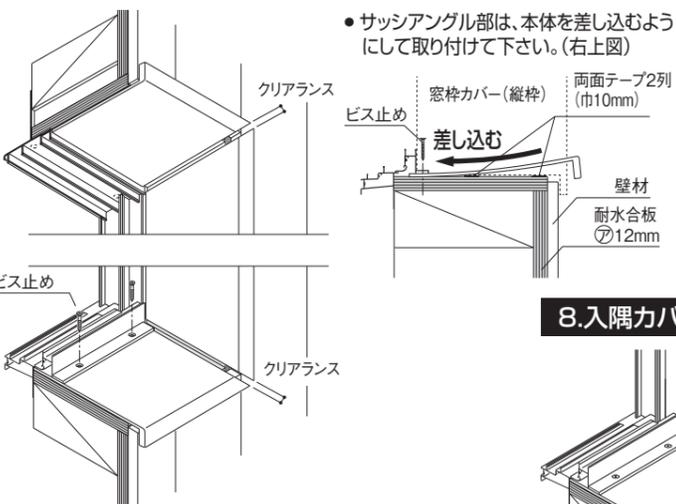
- 奥行寸法に合わせ、巾をカットして下さい。
- 開口寸法に合わせて45°カットしますが、5~6mmのクリアランスが取れるように切断して下さい。

5. 両面テープ貼り付け



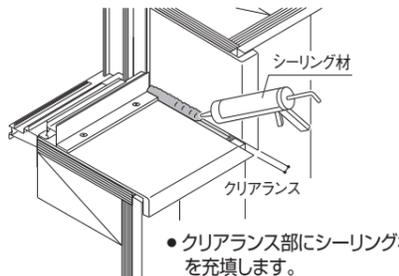
- サッシアングル部には2本、アングルの無い部分には、3本貼り付けます。
- ⚠注意: 両面テープの剥離紙はこの段階では剥がさないで下さい。

6. 本体取り付け



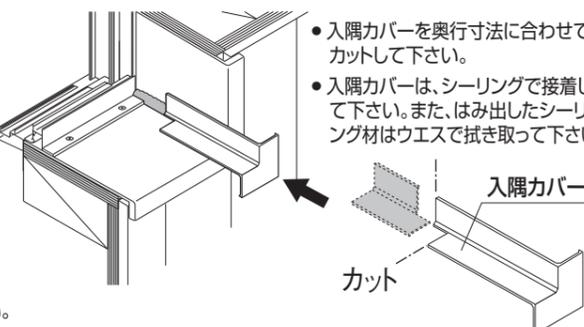
- サッシアングル部は、本体を差し込むようにして取り付けして下さい。(右上図)

7. 入隅部の処理



- クリアランス部にシーリング材を充填します。

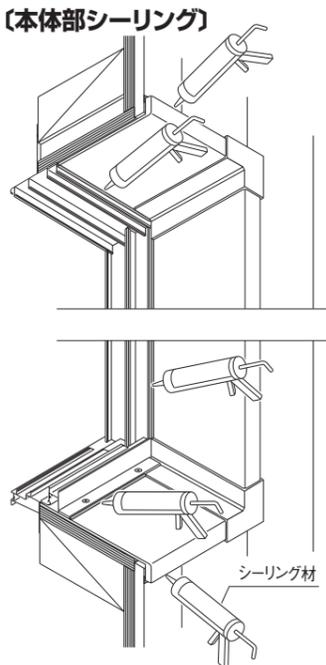
8. 入隅カバーカット・装着



- 入隅カバーを奥行寸法に合わせてカットして下さい。
- 入隅カバーは、シーリングで接着して下さい。また、はみ出したシーリング材はウエスで拭き取って下さい。

- 剥離紙を剥がして窓枠カバー本体を取り付けする前に、事前に仮設置を行い、問題なく取り付けられることを確認して下さい。
- ⚠注意: 仮設置し異常を確認した場合は、窓枠カバーをカットし微調整を行って下さい。
- 確認後、両面テープの剥離紙を剥がし、窓枠カバーを取り付けて下さい。

9. シーリング処理

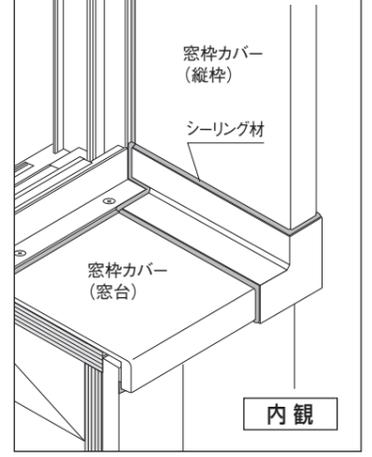


【本体部シーリング】

チェックポイント

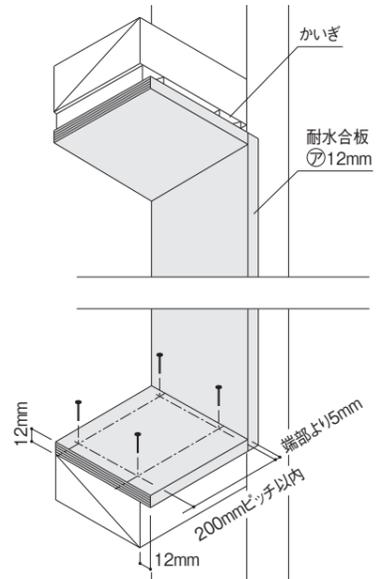
- ⚠注意: 本体とサッシ枠、壁面および入隅との隙間、その他、水、水蒸気が進入すると思われる箇所は、必ずシーリング処理をして下さい。

【入隅部シーリング】



■施工順序(入隅カバーを使用しない場合)

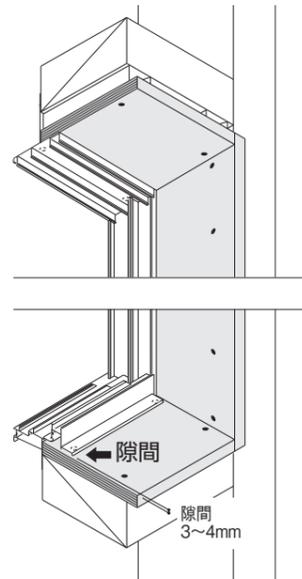
1. 開口部調整(耐水合板貼り付け)



チェックポイント

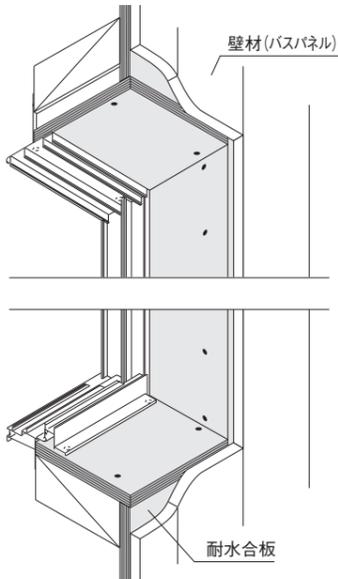
- ⚠️注意: まぐさの内側に四方とも必ず耐水合板(12mm厚)を貼り付けて下さい。
- ⚠️注意: 耐水合板は室内側へ厚み分(12mm)まぐさより出るように貼り付けて下さい。

2. サッシ取り付け



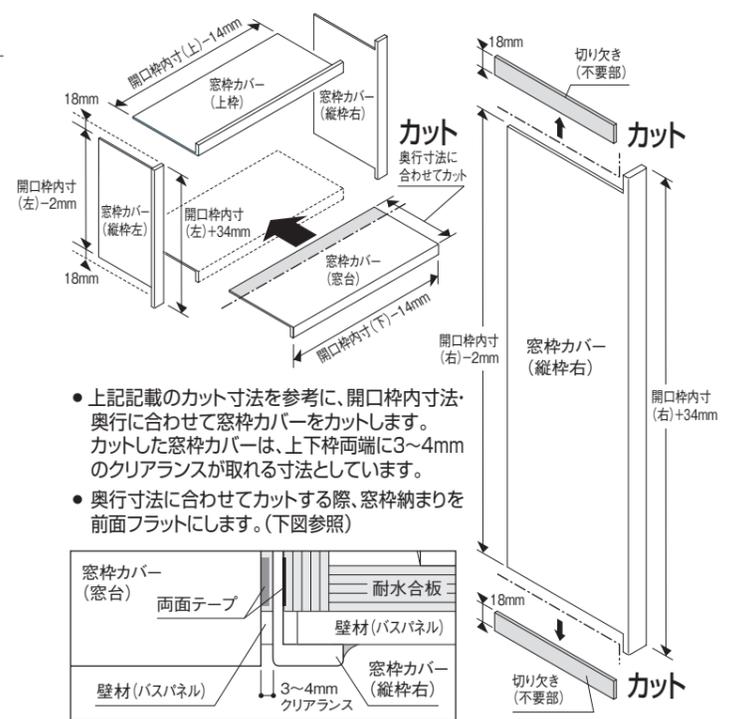
- サッシアングル部と耐水合板の隙間は、3mm以上4mm以下を確保して下さい。

3. 壁材取り付け



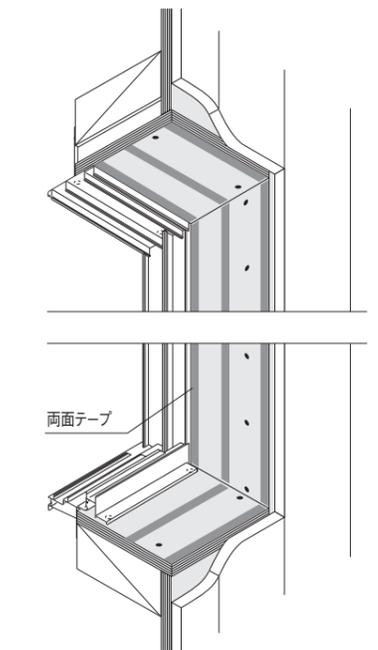
- まぐさ内側に取り付けた耐水合板と同様の耐水合板(12mm厚)を貼り付けて下さい。
- 耐水合板の上から壁材を貼り付けます。

4. 本体切断・加工



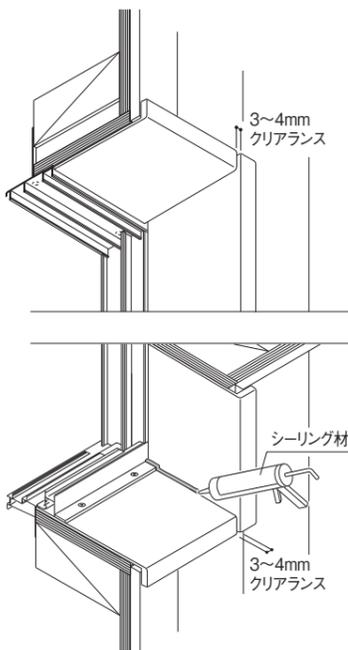
- 上記記載のカット寸法を参考に、開口枠内寸法・奥行に合わせて窓枠カバーをカットします。カットした窓枠カバーは、上下枠両端に3~4mmのクリアランスが取れる寸法としています。
- 奥行寸法に合わせてカットする際、窓枠納まりを前面フラットにします。(下図参照)

5. 両面テープ貼り付け



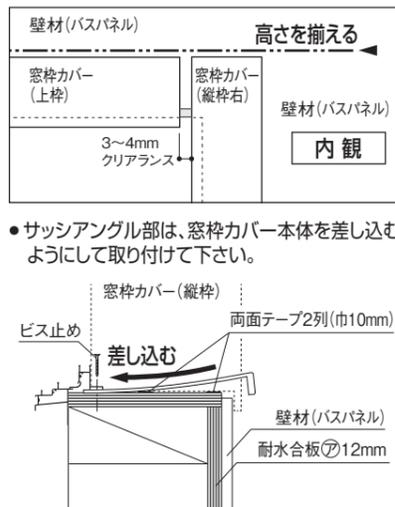
- サッシアングル部には2本、アングルの無い部分には、3本貼り付けます。
- ⚠️注意: 両面テープの剥離紙はこの段階では剥がさないで下さい。

6. 本体取り付けおよび入隅部の処理

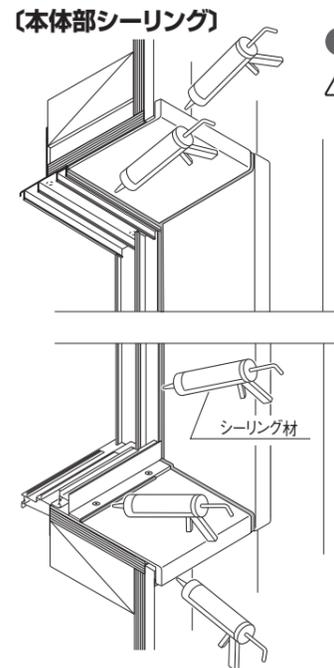


- クリアランス部にシーリング材を充填します。

- 剥離紙を剥がして取り付ける前に、事前に窓枠カバーの仮設置を行い、上枠と縦枠、下枠(窓台)と縦枠の高さが揃っていることを確認し、問題なく取り付けられることを確認して下さい。
- ⚠️注意: 仮設置し異常を確認した場合は、窓枠カバーをカットし微調整を行って下さい。
- 確認後、両面テープの剥離紙を剥がし、窓枠カバーを取り付けて下さい。

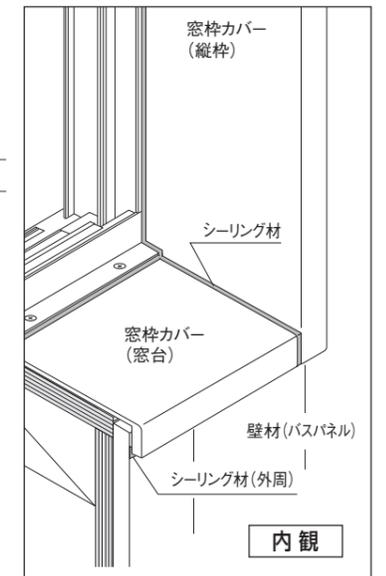


7. シーリング処理



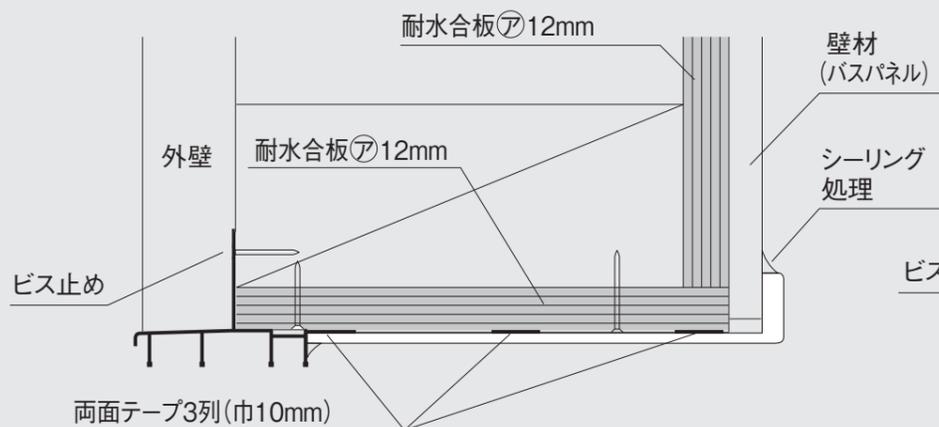
チェックポイント

- ⚠️注意: 本体とサッシ枠、壁面および窓枠との隙間、その他、水、水蒸気が進入すると思われる箇所は、必ずシーリング処理をして下さい。



■参考納まり図(サッシ・アングル無しの場合)

●縦枠・上枠納まり S=1/3



●下枠(窓台)納まり S=1/3

